

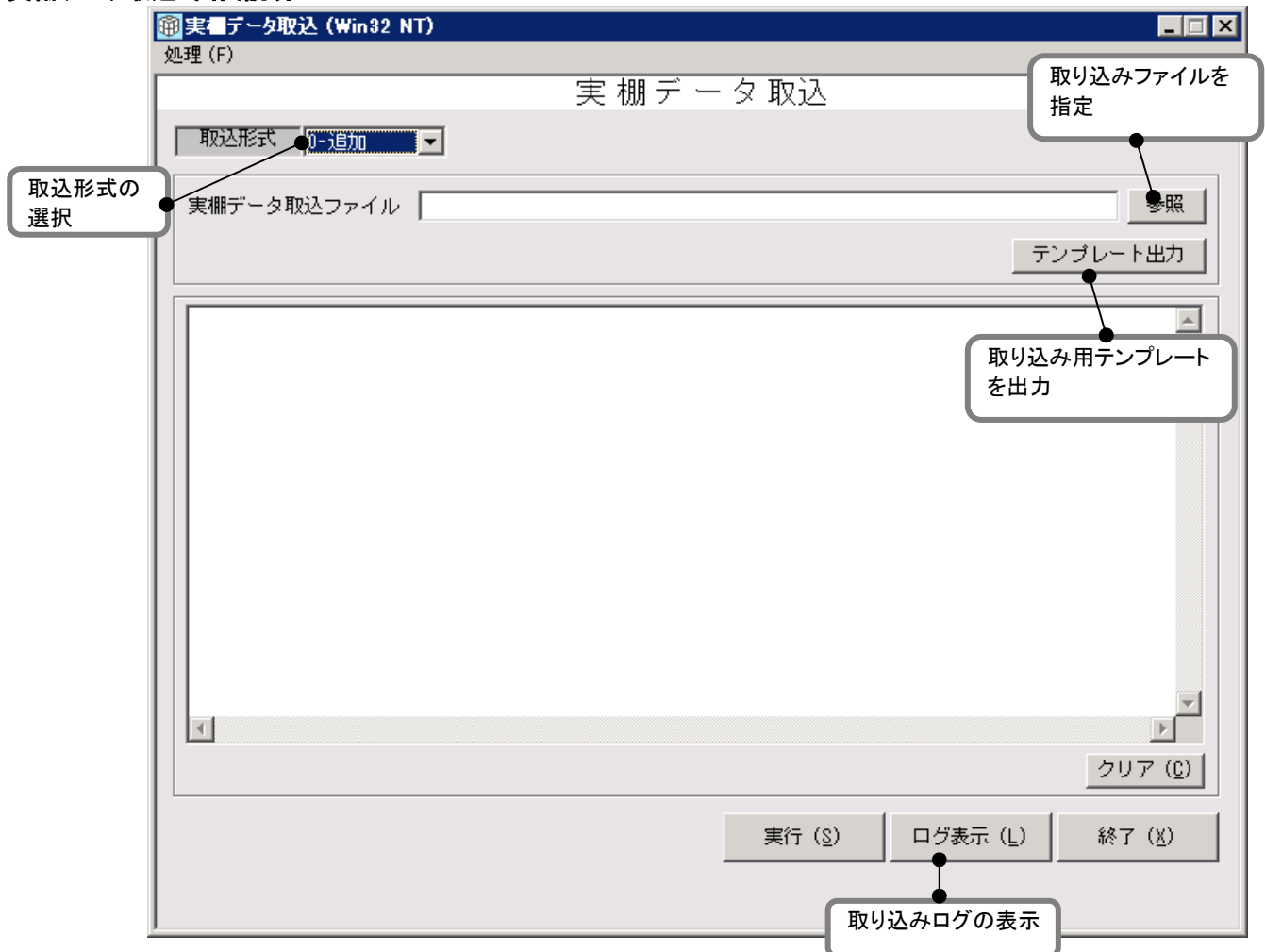


VI-18 実棚データ取込

実棚データ取込の役割

画面で指定したデータファイルから棚卸データを NBS の実棚明細として取り込みます。
取り込み後のデータを修正・削除する場合は実棚確定するまでに
NBS システム 出荷管理内の「実棚入力」「らくらく実棚入力」で呼び出して修正・削除を行います。

実棚データ取込 画面説明



**取り込み実行を行う前に、「棚卸日設定」が必要です。
棚卸日設定で該当の倉庫・店舗に対して設定が行われているか
事前にご確認ください。**

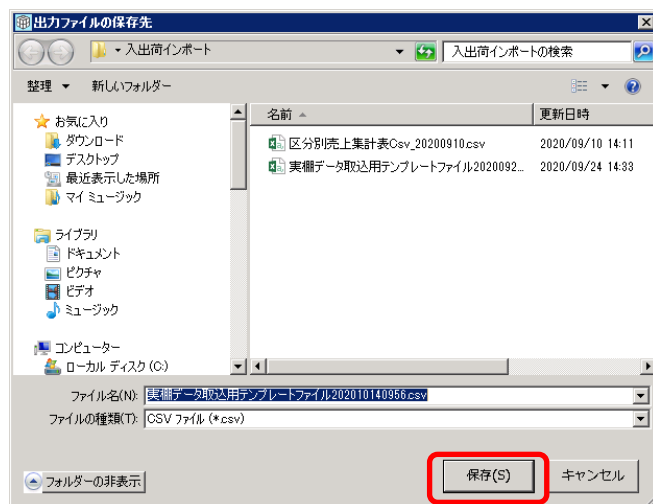


操作方法

1. テンプレート出力

テンプレート出力ボタン押下し、保存先を選択後に保存ボタン押下にてファイルを保存します。

※保存されたテンプレートファイルへ実棚データを入力します。



2. 取込形式

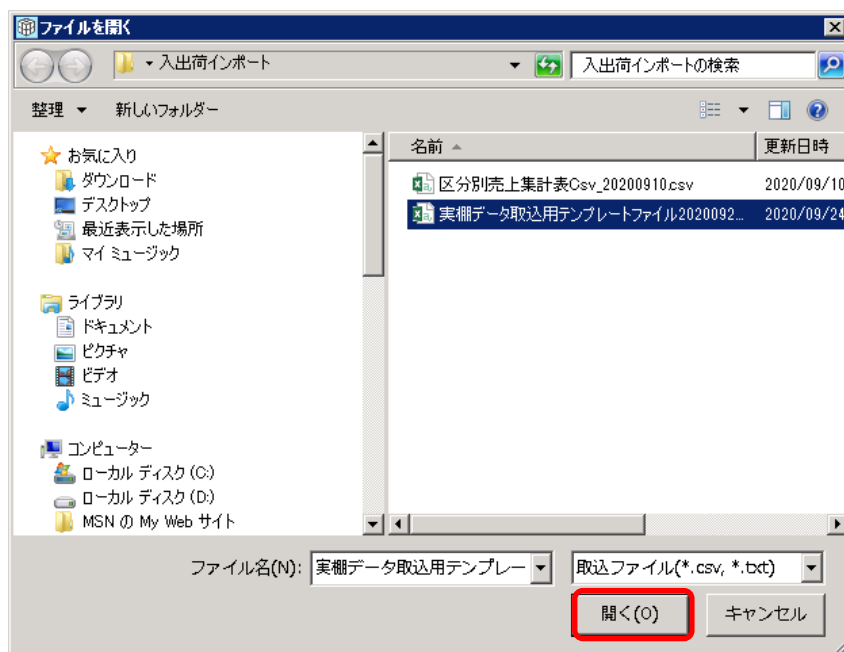
取込形式を[0-追加]、[1-上書き]より選択します。

- ・0-追加 : 登録されている実棚データがある場合、追加データとして登録します。
- ・1-上書き : 登録されている実棚データがある場合、登録されている実棚データを削除し、今回取り込む実棚データのみで上書き登録します。(棚卸のやり直しなどで使用)

3. 参照

参照ボタン押下し、取り込むデータファイルを選択後に開くボタン押下にてファイルを選択します。

取り込み対象ファイルの拡張子は「.csv」です。

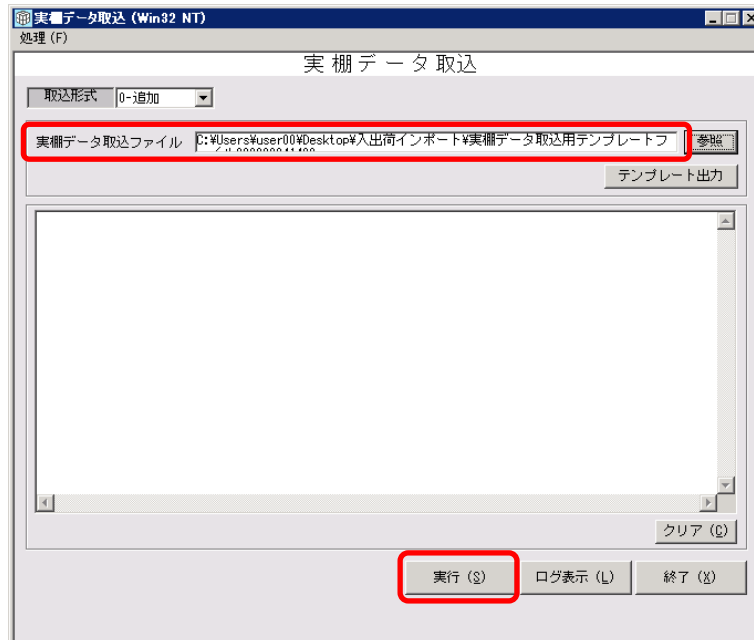


出荷管理システム



4. 実行

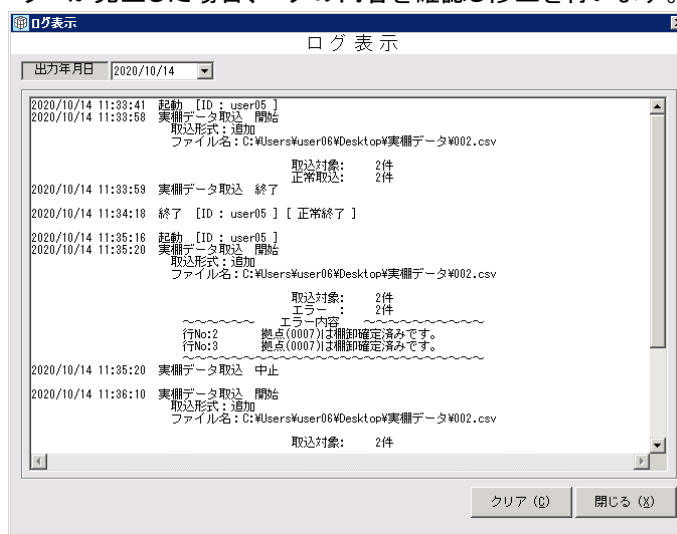
取り込むデータファイルを選択後に、**実行**ボタンを押下すると実棚データの取り込みを開始します。
棚卸日は「棚卸日設定」で設定された棚卸実施日に準拠します。
棚卸確定日を過ぎている場合は、実棚データの取り込み対象外としてエラーにします。



※不正なデータが存在した場合は、ファイル全体の取り込みを中止します。
該当箇所を修正し、再度取り込みを行います。
※取り込みデータの修正は、「実棚入力」「らくらく実棚入力」にて行います。

5. ログ表示

ログ表示ボタン押下後に、出力年月日を選択すると取り込みログを表示します。
取り込みエラーが発生した場合、ログの内容を確認し修正を行います。



6. 終了

終了ボタン押下にて、オプション処理画面に戻ります。



実棚データ取り込みのレイアウト

NBS システムへ取り込む Excel ファイルのレイアウトです。

以下のレイアウトは、横軸(X 軸)が[カラー]、縦軸(Y 軸)が[サイズ]の場合を掲載しています。

No.	必須	項目名	形式	桁数	備考
1	○	出庫元本店	文字	6	倉庫または店舗の本店コード
2		出庫元支店	文字	4	倉庫または店舗の支店コード
3		棚 No	文字	8	半角英数字のみ 未入力の場合は棚 No 空白として扱う
4	△	JAN コード	文字	13	JAN コードマスター利用時に利用 本項目と No.5-8 の品番 SKU 情報の 両方を入力した場合は JAN コードを優先して取り込みを行う
5	△	品番	文字	15	品番を利用する場合は No.5-8 が必須 JAN コードを利用する際は入力不要
6		SEQ	数値	1	空白の場合は SKU 情報から自動取得 (別 Seq で同一 SKU がある場合は最小値)
7		サイズ(Y 軸)	文字	6	名称ではなくコードで指定を行う
8		カラー(X 軸)	文字	6	
9	○	数量	数値	6	整数値のみ マイナス入力も可能 数量が 0 の場合はエラーとする

【注意事項】

- ・CSV ファイルの 2 行目から取り込み対象となります。1 行目のヘッダー部は削除せず使用してください。
- ・ゼロ始まりのコードを指定する際は、編集上、ゼロが見える表示形式にしてください。(例:000192 など)
- ・コードを指定する項目については事前に NBS システム上にマスター登録が必要です。
- ・同一品番 SKU、または JAN コードが複数行に記載されている場合は、集約せずにそのまま取り込みます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	拠点コード 1	拠点コード 2	棚No	JANコード	品番	SEQ	サイズコード	カラーコード	数量
2	0001		001		12345	0	001	009	5